

改善項目	改善小項目	現 状 (平成26年度策定時)	改善計画内容 (目標)	進捗状況
	ア 医療資源の最大活用, 最良の医療提供	以下の示した具体的取組により, 病院の持っている資源としての「ひと」「もの」を活用しながら, 市民への最良の医療提供を目指す。		
	イ 7対1入院基本料の施設基準取得	<p>①10対1入院基本料</p> <p>②平均在院日数 18日</p> <p>③入院パス(診療計画表)の種類約 10種(クリニカルパス管理委員会で承認したもの) ※クリニカルパス: 患者の治療, 検査等の実施内容やスケジュールをまとめた計画書</p>	<p>①マンパワーの活用による患者サービスの向上及び収益確保の観点から継続を目指した。</p> <p>②各科別の在院日数を検証し, 適正化を図る。 → 医師, 看護部, 医事課 ・救急室や外来で, 治療に長時間を要する患者の短期入院を進める。</p> <p>③パス運用の対象事例を増やし, 医療資源の効率的活用を図る。 → 医師, 看護部, 医事課</p>	<p>①H27年5月1日7対1入院基本料の施設基準を取得 →入院患者数及び中途退職者の増により, 継続困難となり, H28年2月, 7対1を返上し10対1に戻した。</p> <p>②H29年度 平均在院日数 15日</p> <p>③H29年度 パス数 26種</p>
	ウ 病床管理の適正化	診療科別病棟別病床管理	病床をコントロールする責任者の明確化 → 院長, 副院長, 看護部	<p>平日の昼 : 院長</p> <p>夜間・休日 : 当直看護師長</p>
収益向上策	エ 診療部門と医事課の連携強化	<p>①管理料, 指導料等の算定 約 8,000 千円(月)</p> <p>②入院基本料等加算算定(施設基準取得分)を検討する。</p>	<p>①管理料, 指導料等の確実な算定による収益増</p> <p>②入院基本料等施設基準取得(H29年度) ・看護必要度加算2 → 看護必要度加算1 ・療養環境加算</p>	<p>①H29年度 約 22,040 千円(月)</p> <p>②H29年度 上位基準取得等による収益 ・看護必要度加算2 → 看護必要度加算1 46,999 千円 ・療養環境加算 6,278 千円 ・呼吸器リハビリテーション料(1)→(2) ▲293 千円 計 約 52,984 千円</p> <p>③H29年度査定率 0.41%, 審査減額 29,247 千円</p> <p>④H29年度返戻率 4.28%, 返戻額 302,020 千円</p>
	オ 請求漏れ防止	<p>③平成 26 年度審査減額 21,404 千円(0.3%)</p> <p>④平成 26 年度返戻額 339,087 千円(4.8%)</p>	<p>③査定率目標(0.25%)</p> <p>④返戻率目標(4%)</p> <p>○平均在院日数の計算除外となる短期滞在手術を把握。 ○電子カルテ活用により請求漏れを防止する。 ○医師等を対象とした保険診療勉強会を年間計画にて各論的に実施する。 ○病棟回診時に医事課担当者が同行し, コスト算定について診療側と情報共有を図る。</p>	<p>○診療報酬改定説明会実施</p> <p>○回診時の同行は行っていないが, 全病棟のスタッフステーションに委託事業者職員を配置し, 電子カルテの確認等により請求漏れを防止している。</p>
	カ 未収金対策の徹底	<p>①平成 26 年度末過年度未収金額(患者分)58,495 千円 ・平成 26 年度訪問件数 78 件</p> <p>・退院時精算請求件数割合 14%</p>	<p>①過年度医業未収金額(患者分)58,495 千円以内 ・訪問徴収継続</p> <p>・退院時精算請求件数割合 50%</p> <p>○預かり金の運用強化等も考える。</p> <p>○退院時即日会計率向上について, 病棟看護師と医事課で協議を行う。 ○訪問徴収の強化</p>	<p>①H29年度過年度医業未収金額 54,820 千円 ・訪問件数 72 件 ・未収金額の一部徴収について, 平成 31 年度からの弁護士法人への委託に向け, 検討中 ・退院時精算請求件数割合 83.5%(H30. 3 月)</p> <p>○時間外救急受診時の預り金を原則全患者対象とした。(以前は, 保険証を持参しない患者など)</p>

気仙沼市立病院経営安定・健全化に係る改善策の取組

キ 市民への検診啓発	今まで市民に対する検診啓発は、実施したことがない。 現在の体制では、検診車の検診よりサービスが悪い。	○検診(健診)担当の体制確保が必要であり、長期目標とし、職場(企業)検診の受入れを検討する。→ 院長はじめ関係所属長 ○人間ドックの受入れを検討する。→ 院長はじめ関係所属長	未着手(検診(健診)担当医師の確保が必要) 未着手(検診(健診)担当医師の確保が必要)
ク 文書料等の調査・検討	定期的な自費料金の調査を実施している。	県内自治体病院の調査を実施し、必要に応じて改善する。	調査の結果、設定料金は適当であった。

気仙沼市立病院経営安定・健全化に係る改善策の取組

改善項目	改善小項目	現 状（平成26年度策定時）	改善計画内容（目標）	進捗状況
費用削減策	ア 医薬品，診療材料，物品購入価の低減化	<p>①新薬を採用する際，同種・同効薬が減っていない。</p> <p>②診療材料の各部署在庫見直しがされていない。</p> <p>③当院の導入SPD（院内物流管理システム）は，納品代行的役割である。</p>	<p>①平成27年度中に不動薬品の削除を行う。→ 薬剤科</p> <p>①新薬採用時は，1増1減を徹底する。→ 薬剤科</p> <p>②診療材料については，定期的な定数見直しを実施していく。→ 看護部</p> <p>③SPDについては，次期更新も見据え，他病院との連携を強め，システムの構築を進める。→ 管財係</p> <p>○光熱水費の削減 → 全職員 ・職員及び警備の見回りを強化する。 ・節電・節水の呼びかけを実施する。</p> <p>○医療消耗品費の削減 → 医療材料管理委員会</p> <p>○消耗品費の削減 → 全職員 ・プロジェクターの利用やPCの活用を進め，会議資料用紙や回覧用紙などを削減する。</p> <p>・医局掲示板の整備により，個人配付文書の用紙削減を進める。</p> <p>○高額機器購入の決裁の厳格化・透明化 → 医療機器整備委員会の適正な運用</p> <p>・購入額，稼働見込み，費用対効果などを明確にした機器購入基準を定める。</p>	<p>①H27.9月薬事審議会に105品目の削除を提案。 → 82品目削除 採用医薬品数 H26年度 2,158→H30.12 1,972</p> <p>②各現場において，随時実施中であり，H30年度の全部署定数見直しを完了</p> <p>③他病院との連携について模索したものの，業者の辞退があり未達成</p> <p>○光熱水費の削減に向け，H30年度，東北電力との間で，料金体系の見直しを実施</p> <p>○節電・節水に向けて，感知システムを用いて調整している。</p> <p>○H30.12，節電強化のための院内活動の実施</p> <p>○マスクの購入額削減 年約150万円減</p> <p>○H27年7月から病棟用検査結果のペーパーレス化を図った。</p> <p>○H27年6月から科長会でのペーパーレス化（プロジェクター利用）を開始した。</p> <p>○医局に掲示板を設置済み。</p> <p>○医療機器整備委員会で申請医師からのヒアリングを行った上で審議し機種選定している。</p>
	イ 消耗品などの病院負担と患者負担の明確化	定期的な自費料金の調査を実施している。	長期目標として入院セットの導入を検討する。→ 看護部，管財係	新病院開院時に導入した。
	ウ 内視鏡等の中央化	ME（臨床工学技士）による中央化が一部稼働されている。	MEによる医療機器中央化の促進 → 医療機器安全管理ワーキンググループ	<p>・H27年度に医療機器管理システムが入り，輸液ポンプ，シリンジポンプ等の管理を開始</p> <p>・H30年度から，メラ（電動式低圧吸引器）及びフットポンプの中央化を実施中。</p> <p>・病棟管理を中心にシステムに取り込み，どこの部署に何が何台あるかを把握する。それにより，物を無駄なく使えるようになる。</p>

気仙沼市立病院経営安定・健全化に係る改善策の取組

改善項目	改善小項目	現 状（平成26年度策定時）	改善計画内容（目標）	進捗状況
サービス向上策	ア 病院機能評価受審 検討	長期目標	受審に向け検討を進める。→ 運営会議, 総務課【新病院開院3年後】	未着手(検討中)
	イ 患者満足度調査	実施済の「新病院建設事業への要望調査」から状況の把握	接遇向上委員会を中心に患者満足度調査を実施する。	H27年10月1日第1回患者満足度調査実施 H29年2月14日第2回患者満足度調査実施 H30年11月20日第3回患者満足度調査実施
	ウ 接遇の改善	①医療安全推進委員会, 副師長会中心に改善に取り組んでいるが, 職員全体への苦情は多い。  ②複雑な動線について苦情あり。 ②病院案内係がない。  ③休診の案内掲示が多すぎてわかりにくい。	①接遇向上委員会を設置する。 ①苦情に対する問題点の把握, 改善策の検討・検証などを共有化する体制の強化を図る。→ 安全管理室, 総務課, 医事課他  ②患者動線を整備する。→ 医事課, 看護部, 管財係 ②廊下に貼ってある案内線の不備を解消する。→ 総務課 ②ボランティアの活用検討 → 総務課, 接遇向上委員会  ③掲示物及び備品の整理整頓 → 全職員	①H27年10月1日接遇向上委員会設置 ①安全管理室と事務部の連携を強化しているが, 専門窓口の設置等(設置によるメリット・デメリットを含む。)について, 具体的な検討には至っていない。  ②「病院案内係(嘱託看護師1人)」を配置した。(H27年5月28日～) ②新病院の誘導サインを追加・修正 ②ボランティア導入は未着手 ③掲示物は, 公式な掲示板にのみ掲示を許可することとし, 掲示場所や掲示期間の厳守などについて, 総務課が管理している。
	エ 待ち時間短縮	①時間がかかりすぎて苦情(診察終了から会計呼出まで)保険証確認に時間がかかる。 会計に時間がかかる。 ②紹介新患を待たせている。(画像取り込み等)	①予約制の拡充 → 医師  ②地域医療連携室を活用した紹介新患の受け入れ態勢の整備 → 地域連携室, 医事課	①耳鼻咽喉科・小児科以外予約制を実施 診察終了から会計呼出までの時間短縮(8分間) H29.11(36分間) → H30.8(28分間) ①保険証確認体制の拡大  ②画像取り込みは, 総合受付でスキャンしている。(医事課対応)

気仙沼市立病院経営安定・健全化に係る改善策の取組

改善項目	改善小項目	現 状（平成26年度策定時）	改善計画内容（目標）	進捗状況
業務改善策・上記以外の取り組み	ア 人材(医師, 看護師)の確保・育成	①常勤医師が不足している。  ②看護師の中途退職等の補充ができない。 ③医療技術者の確保  ④資格取得者の育成・活用	①市長・院長による常勤医師確保に向けた東北大学病院への訪問活動を強化する。  ②職員確保のため、年数回の採用試験を要請する。 ③医療従事者を養成している学校に出向き、勧誘する。 → 総務課他関係部署 ④診療報酬に連動する資格取得を進め、取得者の適所配置を図る。 → 人事権者  ○看護助手や、医師事務補助者などの業務内容の見直しを進める。 → 看護部、医事課・総務課	①市長の東北大学訪問(H30年度) (10/16, 10/24) ①院長・副院長の東北大学訪問(H30年度) (5/25, 7/12・13, 9/28・29, 12/19, 12/27) ②H28年度から年複数回の採用試験を実施 ③看護部・薬剤科において、養成機関やオープンセミナー等に出向き、勧誘している。 ④認定看護師7名（感染1名・がん化学療法1名の養成中を含む。） 感染2名, WOC2名, がん化学療法2名, 緩和ケア1名 ○専門性のあるところには看護師を配置し、一般的な業務は助手ができるようトレーニング中。 ただし、労務職の採用が抑制されているため、嘱託員等により対応している。
	イ 地域医療圏連携	地域医療連携室の業務が、後方支援(スムーズな退院や転院調整など)中心となっており、前方支援(紹介患者の受け入れ)に関しては、あらかじめ開業医から予約を受けた患者のみになっている。	地域医療連携室の体制・機能強化を図り、前方支援を充実させる。	前方支援の充実には至っていない。 地域医療連携室と医療相談室の発展的統合等を含め、他院の体制等を調査研究している。
	ウ ボランティアの活用	ボランティアを導入していない。	市民目線・患者目線に沿った病院づくりを進めるため、患者案内等にボランティアの受け入れを検討する。→ 接遇向上委員会, 総務課	ボランティア担当の配置に至らず未着手(感染予防や介助方法等の各種勉強会開催, 保険対応, 活動室整備, エプロン等被服貸与等の課題あり)
	薬剤科による病棟服薬指導(薬剤管理指導業務)	薬剤師の不足により、全病棟に入っていない。	安全な薬品管理と、患者サービスの向上を図る。→ 薬剤科	・6東(回復期リハ病棟)を除く全病棟で実施しているが、人員体制が不十分で、調剤業務との掛け持ち実施のため、収益には寄与していない。患者サービス向上としての効果はある。
	情報共有と、全病院的な取り組み		全職員に情報を周知する。→ 院長, 事務部	運営会議, 診療管理会議等の各種委員会において、情報共有に取り組んでいる。